

和歌山生協病院・附属診療所だより



2023年
夏号〈No.47〉

生協病院 〒640-8390 和歌山市有本143-1 ☎073-471-7711
附属診療所 〒640-8390 和歌山市有本141-1 ☎073-471-8177



新入職員が入職しました



2023年4月1日に初期研修医1名、看護師7名、薬剤師1名、リハビリセラピスト4名、事務2名の15名が入職式に参加しました。緊張した面持ちで辞令を受け取った新入職員は入職式の後、合同オリエンテーションに参加し、社会人としてのマナーや医療安全、感染対策、医療倫理など医療現場で必要な知識について学びました。その後も配属された職場でのオリエンテーションや新入職員合同の研修を無事に終え、各職場で頑張っています。



病院の理念 いつでも、どこでも誰もが安心できるよりよい医療と福祉をめざします

基本方針 ◇私たちは非営利、協同の組織です。

◇人権を守り、共同の営みの医療と福祉をすすめます。

◇地域住民や関係機関と連携をすすめ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。

◇専門職として安全、倫理、共同の営みを軸とした医療・介護の質の向上を追求します。

◇地域まるごと健康づくりをすすめます。

◇憲法と平和を守り、医療・福祉制度を良くする運動に取り組みます。

*差額ベッド代はいただいております

新任のドクターをご紹介します

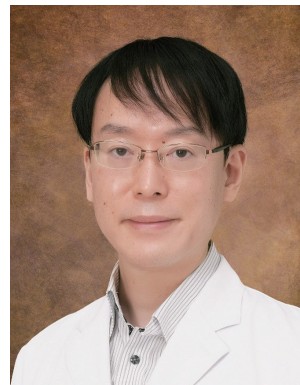
藏本 伸夫 医師

～全人的医療とワークライフバランス～

はじめまして。4月より和歌山生協病院内科でお世話になっております藏本伸夫と申します。内科全般およびリウマチ性疾患・膠原病を診ております。

～これまでの経歴～

私の研修医時代は皮膚科医として始まりました。しかし色々な患者を診ているうちに、より全人的な医療をしたいと思うようになりました。皮膚科を一通り学んだ頃に総合診療科というものがあることを知り、京都府内のいくつかの病院で総合診療科医として修練をしました。たまたま関節リウマチや膠原病患者さんが来ることがありましたが、なかなか適切に対応することができず、膠原病などに関する本で勉強していました。しかしより実践を通して学びたいと思うようになり、大学病院でリウマチ性疾患や膠原病を学んできました。おかげでリウマチ専門医の資格も得て、概ね一人前のリウマチ・膠原病内科医となりました。そのままりウマチ・膠原病専門医を続ける道もありましたが、やはりまた全人的な医療をしたいという思いが強くなり、当院に内科として来る運びとなりました。



～趣味はいろいろ～

仕事以外にさまざまな物事に興味が有り、小学生で始めたピアノ演奏は余裕があれば練習を続けていました。昔からショパンの曲がとて好きで、弾くのが難しい曲が多いのですが少しずつ練習しています。数年前から編み物を独学で始め、これまでコースターやネックウォーマーなど色々な小物を編んでいました。今は手編みセーターという大物に挑戦していて、少々苦戦していますが少しずつ編んでいます。写真撮影も最近始めた趣味で、主に花の写真を撮っています。よく撮れた作品はInstagramでmclemouteというアカウントにて公開しておりますので、よろしければ一度覗いてみて下さい。その他卓球、英会話、フランス語、ペン習字などしていますが、どれもまだ中途半端です。

このたび久しぶりに総合診療・プライマリケア医として働くことになり、新鮮な気持ちであります。大学病院での勤務は本当に大変で、時間も体力もほぼ全て仕事に費やしていました。これからはライフワークバランスを大切にして、仕事はもちろん、趣味やプライベートも充実させたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



辻岡 馨 医師

皆様こんにちは。2023年4月から非常勤医として木曜日午前の皮膚科外来を担当させていただくことになりました辻岡と申します。

私は和歌山市出身であり、これまで日赤病院で診療をしておりました。いろいろな経験を積んでまいりましたが、皮膚科で取り扱う疾患は多種多様に渡り、患者さんは様々な症状でお悩みになっておられます。残念ながら常勤医体制ではないので一定の制約はございますが、すでに月曜日の外来を担当されている国本先生と力を合わせて地域医療を担っていくつもりです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学術運動交流集会を開催しました

和歌山中央医療生活協同組合の事業所などが加盟する和歌山県民主医療機関連合会（和歌山民医連）主催の「和歌山民医連第27回学術運動交流集会」が開催されました。

今回は「いのちとケアが大切にされるまちづくりを目指して」をテーマに、記念講演と各事業所・部署から35演題の発表がありました。オンラインも併用して約150名の職員が参加しました。コロナ禍で懸命に現場を支えてきた私たちの医療・介護活動を改めて共有し、今後の取り組みにも確信を持てる機会となりました。また記念講演では、「地域づくり」の研究で著名な京都橘大学・岡田知弘教授を迎え、この間の政策の矛盾や今後の課題についてお話し頂きました。医療・介護現場での取り組みはもちろん、さらに広い視野で「いのちを守る活動」を考えるきっかけとなる講演と運動交流となりました。



学術運動交流集会を開催しました

当院にはICLS（＊1）実行委員会があり、年に2～3回ICLSコース（＊2）を開催しています。2009年より開催しているコースは今年7月で25回目を迎えます。これまで、県内のみならず県外の医療従事者や救急救命士、消防士など多くの方々が受講されました。そしてその活動はコースの開催だけでなく、学校医を担当している小児科医を通じて、地域の小学校などでBLS講習会を開催するなど、その幅を広げています。

今回は四箇郷北小学校、中之島小学校において教職員の方々向けにBLS講習会を開催しました。



- ＊1：「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語です。突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきか、というコースの学習目標を端的に示しています。心停止はどの医療機関のどの部署においても起こりうるもので、いったん発生すれば蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。まさに「Immediate（すぐに、間髪をおかない）」な処置が必要となるのです。心停止直後の処置には、あらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。
- ＊2：医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

地域の医療と介護の相談窓口 サポートセンター 直通 TEL・FAX 073-473-2088

「医療」「介護」
「治療費」等で
お困りの方は
ご相談ください

いのちの
相談所

和歌山生協病院
サポートセンター

(代表)073-471-7711
(直通)073-473-2088

休業や解雇、新型コロナによる影響などで経済的に困窮している、経済的に通院ができない、介護サービスを受けられないなどお困りのことがあれば気軽に相談してください。



医療費の支払いでお困りの方は、ご相談ください
地域で困っている方がいたら、ご紹介ください。

無料・低額診療のご案内

▶▶誰もが平等に安心して医療を
当院では高齢者や子どもを優先して、減額して
います。これに加えて、無料・低額診療事業を
実施しました。

▶▶無料・低額診療事業とは
生活に困難な方が経済的な理由によって必
要な医療を受ける機会を制限されることのない
よう、無料または低額な料金で診療を行う事
業として、社会福祉法に位置づけられている事
業です。医療費の自己負担金が減額または免
除となります。
※保険適用外の自己負担は対象外です。
※入院中の食事療養費も対象外です。

▶▶治療と一緒に始めよう
制度の有無にかかわらず、必要な診療・治療
を開始しましょう。そして、健康回復のスタートを
きりましょう。

利用するには
下記の病院・診療所にお電話いた
だくか、受付で、お申し出ください。

↓
担当の職員が事情をお聞きし、ご
相談に応じます。

↓
審査の結果適用となれば、医療費
の自己負担金を減額、または免除と
します。

和歌山中央医療生活協同組合
和歌山生協病院
和歌山生協病院附属診療所
TEL(073)471-7711・8171

生協戸原診療所 TEL(073)423-4349
河西診療所 TEL(073)451-6177

<実績> ※病院と附属診療所の合計

2023年3月 紹介率 27.3% 逆紹介率 34.7%

2023年3月 平均入院患者数 146.1名/日、平均外来患者数 164.1名/日、診療訪問件数 315件
時間外受け入れ件数 161件 うち救急車受け入れ件数 92件

診療
案内

生協病院附属診療所

診療
案内

生協病院

●受付 午前診 8:00～11:30、夜診 16:30～19:00
医師の都合により診療体制が変更する場合があります。

(完全予約制)

	午 前								9:15~11:30 14:00~16:00	午 後		夜 診		午前開始 調整可能
	内 科				外 科	皮膚科	小児科	整形外科		特 診	小児科	内 科	小児科	人工透析
	新 患	予 約	予 約	予 約										
月	細 部 福 島	小 西	藏 本	—	田 端	国 本	—	松 本	松 岡 三 谷	アレルギー 特 診	小 西 喘 息	佐 藤	—	○
火	小 西 細 部	畑	三 谷	—	上垣内	—	—	久 保 (AMのみ)	三 谷 坂 口	—	—	—	—	○
水	小 西 細 部	内 田	畑	—	田 端	—	—	—	—	子育て・ 発達外来	松 岡 小 西	細 部	—	○
木	小 西 細 部	土 生	岡 井	—	上垣内	辻 岡	—	—	—	—	—	—	—	○
金	内 田 細 川	坂 口	小 西	藏 本	田 端	—	—	松 本	—	予 防 接 種	特診予約 (第2・4) 土 生 川 西	佐 藤	—	○
土	診 療	—	—	—	—	—	一般外来 (不定期)	—	—	—	—	—	—	○
土 生(第1・3)														

	午 前		午 後
	発熱・ 風邪 外来 小児科 予約制	—	
月	—	佐 藤	土 生 (第4)
火	古 田	佐 藤	土 生
水	—	佐 藤	—
木	古 田 (第1・3)	佐 藤	古 田 (心臓特診)
金	古 田	佐 藤	畑 (喘息特診)

和歌山生協病院・附属診療所だより



2023年
夏号〈No.47〉

生協病院 〒640-8390 和歌山市有本143-1 ☎073-471-7711
附属診療所 〒640-8390 和歌山市有本141-1 ☎073-471-8177



新入職員が入職しました



2023年4月1日に初期研修医1名、看護師7名、薬剤師1名、リハビリセラピスト4名、事務2名の15名が入職式に参加しました。緊張した面持ちで辞令を受け取った新入職員は入職式の後、合同オリエンテーションに参加し、社会人としてのマナーや医療安全、感染対策、医療倫理など医療現場で必要な知識について学びました。その後も配属された職場でのオリエンテーションや新入職員合同の研修を無事に終え、各職場で頑張っています。



病院の理念 いつでも、どこでも誰もが安心できるよりよい医療と福祉をめざします

基本方針 ◇私たちは非営利、協同の組織です。

◇人権を守り、共同の営みの医療と福祉をすすめます。

◇地域住民や関係機関と連携をすすめ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。

◇専門職として安全、倫理、共同の営みを軸とした医療・介護の質の向上を追求します。

◇地域まるごと健康づくりをすすめます。

◇憲法と平和を守り、医療・福祉制度を良くする運動に取り組みます。

*差額ベッド代はいただいております

新任のドクターをご紹介します

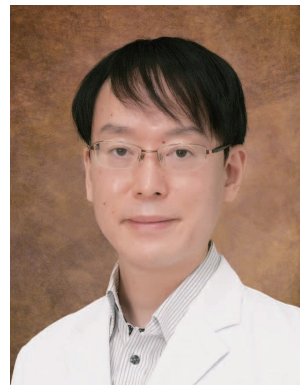
藏本 伸夫 医師

～全人的医療とワークライフバランス～

はじめまして。4月より和歌山生協病院内科でお世話になっております藏本伸夫と申します。内科全般およびリウマチ性疾患・膠原病を診ております。

～これまでの経歴～

私の研修医時代は皮膚科医として始まりました。しかし色々な患者を診ているうちに、より全人的な医療をしたいと思うようになりました。皮膚科を一通り学んだ頃に総合診療科というものがあることを知り、京都府内のいくつかの病院で総合診療科医として修練をしました。たまたま関節リウマチや膠原病患者さんが来ることがありましたが、なかなか適切に対応することができず、膠原病などに関する本で勉強していました。しかしより実践を通して学びたいと思うようになり、大学病院でリウマチ性疾患や膠原病を学んできました。おかげでリウマチ専門医の資格も得て、概ね一人前のリウマチ・膠原病内科医となりました。そのままりウマチ・膠原病専門医を続ける道もありましたが、やはりまた全人的な医療をしたいという思いが強くなり、当院に内科として来る運びとなりました。



～趣味はいろいろ～

仕事以外にさまざまな物事に興味が有り、小学生で始めたピアノ演奏は余裕があれば練習を続けていました。昔からショパンの曲がとて好きで、弾くのが難しい曲が多いのですが少しずつ練習しています。数年前から編み物を独学で始め、これまでコースターやネックウォーマーなど色々な小物を編んでいました。今は手編みセーターという大物に挑戦していて、少々苦戦していますが少しずつ編んでいます。写真撮影も最近始めた趣味で、主に花の写真を撮っています。よく撮れた作品はInstagramでmclemouteというアカウントにて公開しておりますので、よろしければ一度覗いてみて下さい。その他卓球、英会話、フランス語、ペン習字などしていますが、どれもまだ中途半端です。

このたび久しぶりに総合診療・プライマリケア医として働くことになり、新鮮な気持ちであります。大学病院での勤務は本当に大変で、時間も体力もほぼ全て仕事に費やしていました。これからはライフワークバランスを大切にして、仕事はもちろん、趣味やプライベートも充実させたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



辻岡 馨 医師

皆様こんにちは。2023年4月から非常勤医として木曜日午前の皮膚科外来を担当させていただくことになりました辻岡と申します。

私は和歌山市出身であり、これまで日赤病院で診療をしておりました。いろいろな経験を積んでまいりましたが、皮膚科で取り扱う疾患は多種多様に渡り、患者さんは様々な症状でお悩みになっておられます。残念ながら常勤医体制ではないので一定の制約はございますが、すでに月曜日の外来を担当されている国本先生と力を合わせて地域医療を担っていくつもりです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学術運動交流集会を開催しました

和歌山中央医療生活協同組合の事業所などが加盟する和歌山県民主医療機関連合会（和歌山民医連）主催の「和歌山民医連第27回学術運動交流集会」が開催されました。

今回は「いのちとケアが大切にされるまちづくりを目指して」をテーマに、記念講演と各事業所・部署から35演題の発表がありました。オンラインも併用して約150名の職員が参加しました。コロナ禍で懸命に現場を支えてきた私たちの医療・介護活動を改めて共有し、今後の取り組みにも確信を持てる機会となりました。また記念講演では、「地域づくり」の研究で著名な京都橘大学・岡田知弘教授を迎え、この間の政策の矛盾や今後の課題についてお話し頂きました。医療・介護現場での取り組みはもちろん、さらに広い視野で「いのちを守る活動」を考えるきっかけとなる講演と運動交流となりました。



学術運動交流集会を開催しました

当院にはICLS（＊1）実行委員会があり、年に2～3回ICLSコース（＊2）を開催しています。2009年より開催しているコースは今年7月で25回目を迎えます。これまで、県内のみならず県外の医療従事者や救急救命士、消防士など多くの方々が受講されました。そしてその活動はコースの開催だけでなく、学校医を担当している小児科医を通じて、地域の小学校などでBLS講習会を開催するなど、その幅を広げています。

今回は四箇郷北小学校、中之島小学校において教職員の方々向けにBLS講習会を開催しました。



- ＊1：「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語です。突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきか、というコースの学習目標を端的に示しています。心停止はどの医療機関のどの部署においても起こりうるもので、いったん発生すれば蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。まさに「Immediate（すぐに、間髪をおかない）」な処置が必要となるのです。心停止直後の処置には、あらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。
- ＊2：医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

地域の医療と介護の相談窓口 サポートセンター 直通 TEL・FAX 073-473-2088

「医療」「介護」
「治療費」等で
お困りの方は
ご相談ください

いのちの
相談所

和歌山生協病院
サポートセンター

(代表)073-471-7711
(直通)073-473-2088

休業や解雇、新型コロナによる影響などで経済的に困窮している、経済的に通院ができない、介護サービスを受けられないなどお困りのことがあれば気軽に相談してください。



医療費の支払いでお困りの方は、ご相談ください
地域で困っている方がいたら、ご紹介ください。

無料・低額診療のご案内

▶▶誰もが平等に安心して医療を
当院では差額ベッド料を徴収せずに、運営しています。これに加えて、無料・低額診療事業を実施しました。

▶▶無料・低額診療事業とは
生活に困難な方が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額の料金で診療を行う事業として、社会福祉法に位置づけられている事業です。医療費の自己負担金が減額または免除となります。
※保険診療薬用の自己負担は対象外です。
※入院中の食事療養費も対象外です。

▶▶治療と一緒に始めよう
制度の有無にかかわらず、必要な診療・治療を開始しましょう。そして、健康回復のスタートをきりましょう。

利用するには
下記の病院・診療所にお電話いただくか、要付で、お申し出ください。

↓
担当の職員が事情をお聞きし、ご相談に応じます。

↓
審査の結果適用となれば、医療費の自己負担金を減額、または免除とします。

和歌山中央医療生活協同組合
和歌山生協病院
和歌山生協病院附属診療所
TEL(073)471-7711・8171

生協戸原診療所 TEL(073)423-4349
河西診療所 TEL(073)451-6177

<実績> ※病院と附属診療所の合計

2023年3月 紹介率 27.3% 逆紹介率 34.7%

2023年3月 平均入院患者数 146.1名/日、平均外来患者数 164.1名/日、診療訪問件数 315件
時間外受け入れ件数 161件 うち救急車受け入れ件数 92件診療
案内

生協病院附属診療所

診療
案内

生協病院

●受付 午前診 8:00～11:30、夜診 16:30～19:00
医師の都合により診療体制が変更する場合があります。

(完全予約制)

	午 前						9:15~11:30 14:00~16:00	午 後		夜 診		午前開始 調整可能
	内 科		外 科	皮膚科	小児科	整形外科		特 診	小児科	内 科	小児科	人工透析
	新 患	予 約						予 約	予 約			
月	細 部 福 島	小 西 藏 本	田 端	国 本	—	松 本		松 岡 三 谷	アレルギー 特 診	小 西 喘 息	佐 藤	○
火	小 西 細 部	畑 三 谷	上垣内	—	—	久 保 (AMのみ)		三 谷 坂 口	—	—	—	○
水	小 西 細 部	畑 内 田	田 端	—	—	—		—	子育て・ 発達外来	松 岡 小 西	細 部	○
木	小 西 細 部	土 生 岡 井	上垣内	辻 岡	—	—		—	—	—	—	○
金	内 田 細 川	小 西 坂 口 藏 本 土 生(第1・3)	田 端	—	—	松 本		—	予 防 接 種	特診予約 (第2・4) 土 生 川 西	佐 藤	○
土	診 療	—	—	—	—	一般外来 (不定期)	—	—	—	—	—	○

	午 前		午 後
		発熱・ 風邪 外来 小児科 予約制	
月	—	奥 田 佐 藤	土 生 (第4)
火	古 田	佐 藤	土 生
水	—	佐 藤	—
木	古 田 (第1・3)	佐 藤	古 田 (心臓特診)
金	古 田	佐 藤	畑 (喘息特診)

和歌山生協病院・附属診療所だより



生協病院 〒640-8390 和歌山市有本143-1 ☎073-471-7711
附属診療所 〒640-8390 和歌山市有本141-1 ☎073-471-8177



新入職員が入職しました



2023年4月1日に初期研修医1名、看護師7名、薬剤師1名、リハビリセラピスト4名、事務2名の15名が入職式に参加しました。緊張した面持ちで辞令を受け取った新入職員は入職式の後、合同オリエンテーションに参加し、社会人としてのマナーや医療安全、感染対策、医療倫理など医療現場で必要な知識について学びました。その後も配属された職場でのオリエンテーションや新入職員合同の研修を無事に終え、各職場で頑張っています。



病院の理念 いつでも、どこでも誰もが安心できるよりよい医療と福祉をめざします

基本方針 ◇私たちは非営利、協同の組織です。

◇人権を守り、共同の営みの医療と福祉をすすめます。

◇地域住民や関係機関と連携をすすめ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。

◇専門職として安全、倫理、共同の営みを軸とした医療・介護の質の向上を追求します。

◇地域まるごと健康づくりをすすめます。

◇憲法と平和を守り、医療・福祉制度を良くする運動に取り組みます。

*差額ベッド代はいただいております

新任のドクターをご紹介します

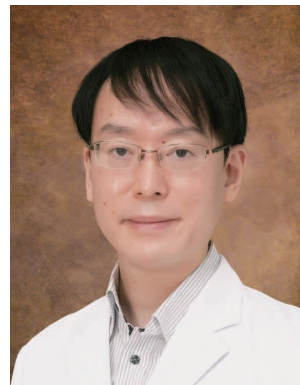
藏本 伸夫 医師

～全人的医療とワークライフバランス～

はじめまして。4月より和歌山生協病院内科でお世話になっております藏本伸夫と申します。内科全般およびリウマチ性疾患・膠原病を診ております。

～これまでの経歴～

私の研修医時代は皮膚科医として始まりました。しかし色々な患者を診ているうちに、より全人的な医療をしたいと思うようになりました。皮膚科を一通り学んだ頃に総合診療科というものがあることを知り、京都府内のいくつかの病院で総合診療科医として修練をしました。たまに関節リウマチや膠原病患者さんが来ることがありましたが、なかなか適切に対応することができず、膠原病などに関する本で勉強していました。しかしより実践を通して学びたいと思うようになり、大学病院でリウマチ性疾患や膠原病を学んできました。おかげでリウマチ専門医の資格も得て、概ね一人前のリウマチ・膠原病内科医となりました。そのままりウマチ・膠原病専門医を続ける道もありましたが、やはりまた全人的な医療をしたいという思いが強くなり、当院に内科として来る運びとなりました。



～趣味はいろいろ～

仕事以外にさまざまな物事に興味が有り、小学生で始めたピアノ演奏は余裕があれば練習を続けていました。昔からショパンの曲がとて好きで、弾くのが難しい曲が多いのですが少しずつ練習しています。数年前から編み物を独学で始め、これまでコースターやネックウォーマーなど色々な小物を編んでいました。今は手編みセーターという大物に挑戦していて、少々苦戦していますが少しずつ編んでいます。写真撮影も最近始めた趣味で、主に花の写真を撮っています。よく撮れた作品はInstagramでmclemouteというアカウントにて公開しておりますので、よろしければ一度覗いてみて下さい。その他卓球、英会話、フランス語、ペン習字などしていますが、どれもまだ中途半端です。

このたび久しぶりに総合診療・プライマリケア医として働くことになり、新鮮な気持ちであります。大学病院での勤務は本当に大変で、時間も体力もほぼ全て仕事に費やしていました。これからはライフワークバランスを大切にして、仕事はもちろん、趣味やプライベートも充実させたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



辻岡 馨 医師

皆様こんにちは。2023年4月から非常勤医として木曜日午前の皮膚科外来を担当させていただくことになりました辻岡と申します。

私は和歌山市出身であり、これまで日赤病院で診療をしておりました。いろいろな経験を積んでまいりましたが、皮膚科で取り扱う疾患は多種多様に渡り、患者さんは様々な症状でお悩みになっておられます。残念ながら常勤医体制ではないので一定の制約はございますが、すでに月曜日の外来を担当されている国本先生と力を合わせて地域医療を担っていくつもりです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学術運動交流集会を開催しました

和歌山中央医療生活協同組合の事業所などが加盟する和歌山県民主医療機関連合会（和歌山民医連）主催の「和歌山民医連第27回学術運動交流集会」が開催されました。

今回は「いのちとケアが大切にされるまちづくりを目指して」をテーマに、記念講演と各事業所・部署から35演題の発表がありました。オンラインも併用して約150名の職員が参加しました。コロナ禍で懸命に現場を支えてきた私たちの医療・介護活動を改めて共有し、今後の取り組みにも確信を持てる機会となりました。また記念講演では、「地域づくり」の研究で著名な京都橘大学・岡田知弘教授を迎え、この間の政策の矛盾や今後の課題についてお話し頂きました。医療・介護現場での取り組みはもちろん、さらに広い視野で「いのちを守る活動」を考えるきっかけとなる講演と運動交流となりました。



学術運動交流集会を開催しました

当院にはICLS（＊1）実行委員会があり、年に2～3回ICLSコース（＊2）を開催しています。2009年より開催しているコースは今年7月で25回目を迎えます。これまで、県内のみならず県外の医療従事者や救急救命士、消防士など多くの方々が受講されました。そしてその活動はコースの開催だけでなく、学校医を担当している小児科医を通じて、地域の小学校などでBLS講習会を開催するなど、その幅を広げています。

今回は四箇郷北小学校、中之島小学校において教職員の方々向けにBLS講習会を開催しました。



- ＊1：「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語です。突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきか、というコースの学習目標を端的に示しています。心停止はどの医療機関のどの部署においても起こりうるもので、いったん発生すれば蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。まさに「Immediate（すぐに、間髪をおかない）」な処置が必要となるのです。心停止直後の処置には、あらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。
- ＊2：医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

地域の医療と介護の相談窓口 サポートセンター 直通 TEL・FAX 073-473-2088

「医療」「介護」
「治療費」等で
お困りの方は
ご相談ください

いのちの
相談所

和歌山生協病院
サポートセンター

(代表)073-471-7711
(直通)073-473-2088

休業や解雇、新型コロナによる影響などで経済的に困窮している、経済的に通院ができない、介護サービスを受けられないなどお困りのことがあれば気軽に相談してください。



医療費の支払いでお困りの方は、ご相談ください
地域で困っている方がいたら、ご紹介ください。

無料・低額診療のご案内

▶▶誰もが平等に安心して医療を
当院では差額ベッド料を徴収せずに、運営しています。これに加えて、無料・低額診療事業を実施しました。

▶▶無料・低額診療事業とは
生活に困難な方が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額の料金で診療を行う事業として、社会福祉法に位置づけられている事業です。医療費の自己負担金が減額または免除となります。
※保険診療範囲の自己負担は対象外です。
※入院中の食事療養費も対象外です。

▶▶治療と一緒に始めよう
制度の有無にかかわらず、必要な診療・治療を開始しましょう。そして、健康回復のスタートをきりましょう。

利用するには
下記の病院・診療所にお電話いただくか、受付で、お申し出ください。

↓
担当の職員が事情をお聞きし、ご相談に応じます。

↓
審査の結果適用となれば、医療費の自己負担金を減額、または免除とします。

和歌山中央医療生活協同組合
和歌山生協病院
和歌山生協病院附属診療所
TEL(073)471-7711・8171

生協戸原診療所 TEL(073)423-4349
河西診療所 TEL(073)451-6177

<実績> ※病院と附属診療所の合計

2023年3月 紹介率 27.3% 逆紹介率 34.7%

2023年3月 平均入院患者数 146.1名/日、平均外来患者数 164.1名/日、診療訪問件数 315件
時間外受け入れ件数 161件 うち救急車受け入れ件数 92件診療
案内

生協病院附属診療所

診療
案内

生協病院

●受付 午前診 8:00～11:30、夜診 16:30～19:00
医師の都合により診療体制が変更する場合があります。

(完全予約制)

	午 前						9:15~11:30 14:00~16:00	午 後		夜 診		午前開始 調整可能
	内 科		外 科	皮膚科	小児科	整形外科		特 診	小児科	内 科	小児科	人工透析
	新 患	予 約						予 約	予 約			
月	細 部 福 島	小 西 藏 本	田 端	国 本	—	松 本		松 岡 三 谷	アレルギー 特 診	小 西 喘 息	佐 藤	○
火	小 西 細 部	畑 三 谷	上垣内	—	—	久 保 (AMのみ)		三 谷 坂 口	—	—	—	○
水	小 西 細 部	畑 内 田	田 端	—	—	—		—	子育て・ 発達外来	松 岡 小 西	細 部	○
木	小 西 細 部	土 生 岡 井	上垣内	辻 岡	—	—		—	—	—	—	○
金	内 田 細 川	小 西 坂 口 藏 本 土 生(第1・3)	田 端	—	—	松 本		—	予 防 接 種	特診予約 (第2・4) 土 生 川 西	佐 藤	○
土	診 療	—	—	—	一般外来 (不定期)	—		—	—	—	—	○

	午 前		午 後
		発熱・ 風邪 外来 小児科 予約制	
月	—	奥 田 佐 藤	土 生 (第4)
火	古 田	佐 藤	土 生
水	—	佐 藤	—
木	古 田 (第1・3)	佐 藤	古 田 (心臓特診)
金	古 田	佐 藤	畑 (喘息特診)

和歌山生協病院・附属診療所だより



生協病院 〒640-8390 和歌山市有本143-1 ☎073-471-7711
附属診療所 〒640-8390 和歌山市有本141-1 ☎073-471-8177



新入職員が入職しました



2023年4月1日に初期研修医1名、看護師7名、薬剤師1名、リハビリセラピスト4名、事務2名の15名が入職式に参加しました。緊張した面持ちで辞令を受け取った新入職員は入職式の後、合同オリエンテーションに参加し、社会人としてのマナーや医療安全、感染対策、医療倫理など医療現場で必要な知識について学びました。その後も配属された職場でのオリエンテーションや新入職員合同の研修を無事に終え、各職場で頑張っています。



病院の理念 いつでも、どこでも誰もが安心できるよりよい医療と福祉をめざします

基本方針 ◇私たちは非営利、協同の組織です。

◇人権を守り、共同の営みの医療と福祉をすすめます。

◇地域住民や関係機関と連携をすすめ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。

◇専門職として安全、倫理、共同の営みを軸とした医療・介護の質の向上を追求します。

◇地域まるごと健康づくりをすすめます。

◇憲法と平和を守り、医療・福祉制度を良くする運動に取り組みます。

***差額ベッド代はいただいております**

新任のドクターをご紹介します

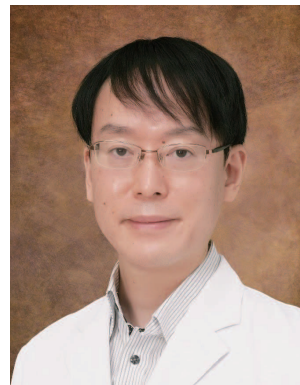
藏本 伸夫 医師

～全人的医療とワークライフバランス～

はじめまして。4月より和歌山生協病院内科でお世話になっております藏本伸夫と申します。内科全般およびリウマチ性疾患・膠原病を診ております。

～これまでの経歴～

私の研修医時代は皮膚科医として始まりました。しかし色々な患者を診ているうちに、より全人的な医療をしたいと思うようになりました。皮膚科を一通り学んだ頃に総合診療科というものがあることを知り、京都府内のいくつかの病院で総合診療科医として修練をしました。たまたま関節リウマチや膠原病患者さんが来ることがありましたが、なかなか適切に対応することができず、膠原病などに関する本で勉強していました。しかしより実践を通して学びたいと思うようになり、大学病院でリウマチ性疾患や膠原病を学んできました。おかげでリウマチ専門医の資格も得て、概ね一人前のリウマチ・膠原病内科医となりました。そのままりウマチ・膠原病専門医を続ける道もありましたが、やはりまた全人的な医療をしたいという思いが強くなり、当院に内科として来る運びとなりました。



～趣味はいろいろ～

仕事以外にさまざまな物事に興味が有り、小学生で始めたピアノ演奏は余裕があれば練習を続けていました。昔からショパンの曲がとて好きで、弾くのが難しい曲が多いのですが少しずつ練習しています。数年前から編み物を独学で始め、これまでコースターやネックウォーマーなど色々な小物を編んでいました。今は手編みセーターという大物に挑戦していて、少々苦戦していますが少しずつ編んでいます。写真撮影も最近始めた趣味で、主に花の写真を撮っています。よく撮れた作品はInstagramでmclemouteというアカウントにて公開しておりますので、よろしければ一度覗いてみて下さい。その他卓球、英会話、フランス語、ペン習字などしていますが、どれもまだ中途半端です。

このたび久しぶりに総合診療・プライマリケア医として働くことになり、新鮮な気持ちであります。大学病院での勤務は本当に大変で、時間も体力もほぼ全て仕事に費やしていました。これからはライフワークバランスを大切にして、仕事はもちろん、趣味やプライベートも充実させたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



辻岡 馨 医師

皆様こんにちは。2023年4月から非常勤医として木曜日午前の皮膚科外来を担当させていただくことになりました辻岡と申します。

私は和歌山市出身であり、これまで日赤病院で診療をしておりました。いろいろな経験を積んでまいりましたが、皮膚科で取り扱う疾患は多種多様に渡り、患者さんは様々な症状でお悩みになっておられます。残念ながら常勤医体制ではないので一定の制約はございますが、すでに月曜日の外来を担当されている国本先生と力を合わせて地域医療を担っていくつもりです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学術運動交流集会を開催しました

和歌山中央医療生活協同組合の事業所などが加盟する和歌山県民主医療機関連合会（和歌山民医連）主催の「和歌山民医連第27回学術運動交流集会」が開催されました。

今回は「いのちとケアが大切にされるまちづくりを目指して」をテーマに、記念講演と各事業所・部署から35演題の発表がありました。オンラインも併用して約150名の職員が参加しました。コロナ禍で懸命に現場を支えてきた私たちの医療・介護活動を改めて共有し、今後の取り組みにも確信を持てる機会となりました。また記念講演では、「地域づくり」の研究で著名な京都橘大学・岡田知弘教授を迎え、この間の政策の矛盾や今後の課題についてお話し頂きました。医療・介護現場での取り組みはもちろん、さらに広い視野で「いのちを守る活動」を考えるきっかけとなる講演と運動交流となりました。



ICLS実行委員会が地域の小学校でBLS講習会

当院にはICLS（＊1）実行委員会があり、年に2～3回ICLSコース（＊2）を開催しています。2009年より開催しているコースは今年7月で25回目を迎えます。これまで、県内のみならず県外の医療従事者や救急救命士、消防士など多くの方々が受講されました。そしてその活動はコースの開催だけでなく、学校医を担当している小児科医を通じて、地域の小学校などでBLS講習会を開催するなど、その幅を広げています。

今回は四箇郷北小学校、中之島小学校において教職員の方々向けにBLS講習会を開催しました。



- ＊1：「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語です。突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきか、というコースの学習目標を端的に示しています。心停止はどの医療機関のどの部署においても起こりうるもので、いったん発生すれば蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。まさに「Immediate（すぐに、間髪をおかない）」な処置が必要となるのです。心停止直後の処置には、あらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。
- ＊2：医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

地域の医療と介護の相談窓口 サポートセンター 直通 TEL・FAX 073-473-2088

「医療」「介護」
「治療費」等で
お困りの方は
ご相談ください

いのちの
相談所

和歌山生協病院
サポートセンター

(代表)073-471-7711
(直通)073-473-2088

休業や解雇、新型コロナによる影響などで経済的に困窮している、経済的に通院ができない、介護サービスを受けられないなどお困りのことがあれば気軽に相談してください。



医療費の支払いでお困りの方は、ご相談ください
地域で困っている方がいたら、ご紹介ください。

無料・低額診療のご案内

▶▶誰もが平等に安心して医療を
当院では差額ベッド料を徴収せずに、運営しています。これに加えて、無料・低額診療事業を実施しました。

▶▶無料・低額診療事業とは
生活に困難な方が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額の料金で診療を行う事業として、社会福祉法に位置づけられている事業です。医療費の自己負担金が減額または免除となります。
※保険診療範囲の自己負担は対象外です。
※入院中の食事療養費も対象外です。

▶▶治療と一緒に始めよう
制度の有無にかかわらず、必要な診療・治療を開始しましょう。そして、健康回復のスタートをきりましょう。

利用するには
下記の病院・診療所にお電話いただくか、受付で、お申し出ください。

↓
担当の職員が事情をお聞きし、ご相談に応じます。

↓
審査の結果適用となれば、医療費の自己負担金を減額、または免除とします。

和歌山中央医療生活協同組合
和歌山生協病院
和歌山生協病院附属診療所
TEL(073)471-7711・8171

生協戸原診療所 TEL(073)423-4349
河西診療所 TEL(073)451-6177

<実績> ※病院と附属診療所の合計

2023年3月 紹介率 27.3% 逆紹介率 34.7%

2023年3月 平均入院患者数 146.1名/日、平均外来患者数 164.1名/日、診療訪問件数 315件
時間外受け入れ件数 161件 うち救急車受け入れ件数 92件

診療
案内

生協病院附属診療所

診療
案内

生協病院

●受付 午前診 8:00～11:30、夜診 16:30～19:00
医師の都合により診療体制が変更する場合があります。

(完全予約制)

	午 前						9:15~11:30 14:00~16:00	午 後		夜 診		午前開始 調整可能
	内 科		外 科	皮膚科	小児科	整形外科		特 診	小児科	内 科	小児科	人工透析
	新 患	予 約						予 約	予 約			
月	細 部 福 島	小 西 藏 本	田 端	国 本	—	松 本		松 岡 三 谷	アレルギー 特 診	小 西 喘 息	佐 藤	○
火	小 西 細 部	畑 三 谷	上垣内	—	—	久 保 (AMのみ)		三 谷 坂 口	—	—	—	○
水	小 西 細 部	畑 内 田	田 端	—	—	—		—	子育て・ 発達外来	松 岡 小 西	細 部	○
木	小 西 細 部	土 生 岡 井	上垣内	辻 岡	—	—		—	—	—	—	○
金	内 田 細 川	小 西 坂 口 藏 本 土 生(第1・3)	田 端	—	—	松 本		—	予 防 接 種	特診予約 (第2・4) 土 生 川 西	佐 藤	○
土	診 療	—	—	—	一般外来 (不定期)	—		—	—	—	—	○

	午 前		午 後
		発熱・ 風邪 外来 小児科 予約制	
月	—	奥 田 佐 藤	土 生 (第4)
火	古 田	佐 藤	土 生
水	—	佐 藤	—
木	古 田 (第1・3)	佐 藤	古 田 (心臓特診)
金	古 田	佐 藤	畑 (喘息特診)